

役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程

(目的及び意義)

第1条 この規程は、公益財団法人てんかん治療研究振興財団（以下「本財団」という。）の定款第17条及び第33条の規定に基づき、役員及び評議員の報酬並びに費用に関し必要な事項を定めることを目的とし、公益社団法人及び公益財団法人の認定に関する法律（以下「認定法」という。）の規定に照らし、妥当性と透明性の確保を図ることとする。

(定義等)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 役員とは、理事及び監事をいう。
- (2) 評議員とは、定款第14条に基づき置かれる者をいう。
- (3) 報酬等とは、その名称いかんを問わず、認定法第5条第13号で定める報酬、賞与その他の職務遂行の対価として受ける財産上の利益及び退職手当であつて、費用とは明確に区分されるものとする。
- (4) 費用とは、職務の遂行に伴い発生する交通費、通勤費、旅費（宿泊費含む。）、手数料等の経費をいう。報酬とは、明確に区分されるものとする。

(報酬等の支給)

第3条 本財団は、役員に対し理事会の出席等、必要の都度、定額の報酬を支払うことができる。
2 評議員には、評議員会出席等、必要の都度、定額の報酬を支払うことができる。
3 本財団は、役員及び評議員に対し賞与及び退職手当は支給しない。
4 第1項の規程にかかわらず、役員及び評議員は第4条に定める報酬を辞退することができる。

(報酬額)

第4条 役員及び評議員に対する報酬額は、理事会又は評議員会の出席につき、1人1回当たり3,333円とする。

(報酬の支給方法)

第5条 報酬は通貨をもって本人に支給する。ただし、本人の指定する本人名義の金融機関窓口に取り込むこともできる。
2 報酬は、法令の定めるところにより控除すべき金額を控除して支給する。

(費用)

第6条 本財団は、役員及び評議員がその職務の遂行に当たって支出し、又は負担した費用については、これを請求のあった日から遅滞なく支払うものとする。

(公表)

第7条 本財団はこの規程を、認定法第20条第1項に定める報酬等の支給の基準として公表するものとする。

(規程の変更)

第8条 この規程の変更は、評議員会の決議を経て行なう。

附 則

この規程は、公益財団法人てんかん治療研究振興財団の移行の登記の日(平成22年10月1日)から施行する。